

学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.172

2017.11

CONTENTS

コラム / 特集① 全国七大学総合体育大会、東海地区国立大学体育大会 / トピックス

特集② 海外留学体験報告、インターンシップ体験報告 / 教育推進部の窓 / クラブ活動 / 伝言板 / 災害対策

COLUMN

山奥の温泉宿で本を読むのも悪くない

副総長 木俣 元一

本とともにある人の姿は古くから絵画の主題になってきました。中世やルネサンスでは、大天使が訪れる美少女マリアのかたわらに小さな本が置かれます。アンドレ・ケルテスのすばらしい写真集『読む時間(原題はOn Reading)』(1971年)では、本や新聞を読む人がテーマになっています。最近ステイヴ・マッカーリーがケルテスへのオマージュとなる同名の写真集を刊行しました。書物に向かう人の姿にこれほど惹きつけられるのは何故でしょう。

近頃は本を読む人を見かけることが少なくなりました。確かに本など一冊も読まなくても生きていきます。むしろ書物に近寄らないのは、本の海に呑みこまれて時間を浪費しないための知恵と言えなくもないでしょう。だからといって本と触れ合う機会を完全に閉ざしてしまうのも、ちょっともったいない。皆さんが大学に入るまでに身につけてきた本との付き合い方は、じつはごく限られたものなのです。本に近寄らずに一生を終えると決心を固めるのは、本との付き合い方についてもう少し視野を広げてからでも遅くはありません。

たとえば私たちは幼い頃から、本は始まりから終わりまで一字一句飛ばさずに通読するしかないと思い込まされてきました。それ以外の読み方はケシカランという倫理的規範に縛られてしまっているのです。この点で、ピエール・バイヤールの『読んでいない本について堂々と語る方法』(大浦康介訳、ちくま学芸文庫)は、ぜひ皆さんに読んでもらいたい本です。著者によれば、「読んだ」と「読んでいない」とのあいだの境界は不確かなものなのです。

バイヤールも引いています。漱石の『草枕』では、書物と過ごすとても魅力的な時間が描かれます。山奥の温泉宿にこもる画家は、読んでいる本に何を書いてあるか宿の娘である那美に尋ねられ、「只机の上へ、こう開けて、開いた所をいい加減に読んでるんです」と説明します。那美が「初から読んじゃ、どうして悪るいでしょ」と尋ねると、「初から読まなけりゃならないとすると、仕舞まで読まなけりゃならない訳になりましょう」と答えます。この後、画家は読んでいる本の中から、夕暮のヴェニスで語り合う男女の会話を彼女のために訳してあげます。その男女が誰なのか問われ、「誰だか、わたしにも分らないんだ。それだから面白いのですよ。今までの関係なんかどうでもいいできあ。只あなたとわたしの様に、こう一所に居るところなんで、その場限りで面白味があるでしょう」と答えるのです。

とても不思議な感覚を呼び起すこの箇所、書物と人の関わりについての秘密を漱石は語っているような気がします。

特集① 全国七大学総合体育大会

第56回全国七大学総合体育大会

9月23日に名古屋大学構内にて行われた閉会式をもって、第56回全国七大学総合体育大会が閉幕いたしました。今年の七大学戦は名古屋大学が主管を務めました。その名古屋大学ですが、昨年の55回大会では5位で、過去に総合優勝を果たした回数も3回と7大学中最も少なく、前回主管校を務めた第49回大会でも2位と惜しくも総合優勝を逃しており、なかなか思うような結果を残せずにいました。そこで主管校として第56回大会を迎えるにあたって、今年こそは何としても総合優勝を成し遂げるぞと多くの運動部が意気込みを語り、名古屋大学体育会全体で大きく盛り上がっていました。

そして昨年12月にアイスホッケー競技、スキー競技、今年の2月終わりに航空競技と冬季春季競技がスタートし、第56回七大学戦が開幕しました。名古屋大学は航空競技の優勝などで一気にトップに立ち、見事なスタートダッシュを切りました。

ところが、その後はなかなか得点を伸ばせず、総合順位も3位、5位と徐々に落ち込み、結局6位となってしまい、今年も総合優勝は厳しいのかと思いついてきた頃、陸上競技男子が悲願の優勝を果たすと、その勢いに乗って、昨年6位の硬式野球競技の優勝、ハンドボール競技は2年連続、女子ソフトテニス競技は3年連続となる優勝などで健闘を続け、総合順位を2位まで押し上げました。このまま逆転優勝が期待されましたが、最終競技終了後、結局大会中盤から一度もトップを譲ることなく圧倒的な強さを見せた東北大学に一歩及ばず総合2位となりました。昨年と比べても名古屋大学は優勝した競技数が2倍以上となり、総合優勝に手が届きそうなどころまで健闘しただけにと悔しい結果となってしまいました。

ところで、今年は七大学戦主管開催に合わせて、名古屋大学体育会としての新たな試みとして第56回七大学戦の大会マスコットである「ナゴすけ」の着ぐるみを作成しました。この「ナゴすけ」は開会式等のイベントや競技の応援に登場し、大会を盛り上げてくれました。今後も名古屋大学体育会マスコットとなり、学内外のイベントで活躍してくれることでしょう。

最後になりましたが、本大会を運営していくにあたり、松尾総長をはじめ多くの先生方や、大学職員の皆様、生協の皆様など大変多くの方々にご協力いただきましたこと、心より感謝いたします。また、今回このような伝統ある大会の運営に関わることができたことは我々運動部や体育会執行部の学生にとっては、今後の人生につながるかけがえのない財産になったに違いありません。私は、大学は学業だけでなく課外活動を通して成長できる場でもあると実感しました。今後も名古屋大学体育会や七大学の学生の活動を暖かく見守ってくださるよう、よろしくお願い申し上げます。

第56回全国七大学総合体育大会実行委員長 桑山 晃久

◆◆◆◆◆ 第56回全国七大学総合体育大会成績表 ◆◆◆◆◆

競技種目	大学名	北海道大学		東北大学		東京大学(主幹校)		名古屋大学		京都大学		大阪大学		九州大学		
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
アイスホッケー		1位	10	6位	2	2位	8	3位	6	4位	4	5位	3	7位	1	
スキー		不参加		1位	10	2位	8	3位	6	6位	2	4位	4	5位	3	
航空		3位	6	5位	3	7位	1	1位	10	2位	8	4位	4	6位	2	
バスケットボール	男子	3位	6	2位	8	7位	1	5位	3	6位	2	1位	10	4位	4	
	女子	2位	8	1位	10	6位	2	4位	4	3位	6	5位	3	7位	1	
少林寺拳法		7位	1	5位	3	1位	10	6位	2	4位	4	2位	8	3位	6	
硬式テニス	男子	3位	6	5位	3	2位	8	8	1位	10	6位	2	4位	4	7位	1
	女子	4位	4	5位	3	3位	6	6位	2	2位	8	1位	10	7位	1	
柔道		3位	5	1位	10	6位	2	5位	3	3位	5	2位	8	7位	1	
空手道	男子	1位	10	6位	2	2位	8	7位	1	5位	3	4位	4	3位	6	
	女子	2位	8	3位	6	1位	10	6位	2	5位	3	4位	4	不参加		
ラクロス	女子	7位	1	1位	10	6位	2	2位	8	3位	6	4位	4	5位	3	
ヨット		5位	2	2位	6	6位	1	参加不能		3位	4	4位	3	1位	8	
競泳	男子	1位	10	7位	1	2位	8	6位	2	3位	6	5位	3	4位	4	
	女子	1位	10	7位	1	3位	6	4位	4	5位	3	2位	8	6位	2	
剣道	男子	2位	8	4位	4	1位	10	6位	2	3位	6	7位	1	5位	3	
	女子	7位	1	2位	8	5位	3	4位	4	3位	6	6位	2	1位	10	
陸上競技	男子	5位	3	4位	4	6位	2	1位	10	3位	6	2位	8	7位	1	
	女子	6位	2	1位	10	3位	6	5位	3	4位	4	2位	8	7位	1	
準硬式野球		不参加		3位	6	6位	2	2位	8	5位	3	1位	10	4位	4	
バドミントン	男子	6位	2	2位	8	7位	1	5位	3	4位	4	3位	6	1位	10	
	女子	1位	10	2位	8	7位	1	4位	4	6位	2	5位	3	3位	6	
硬式野球		3位	6	2位	8	5位	3	1位	10	6位	2	7位	1	4位	4	
バレーボール	男子	5位	3	1位	10	4位	4	6位	2	2位	8	7位	1	3位	6	
	女子	4位	4	1位	10	5位	3	3位	6	7位	1	6位	2	2位	8	
ハンドボール		5位	3	6位	2	7位	1	1位	10	4位	4	2位	8	3位	6	
フェンシング		該当なし		1位	6	3位	3	該当なし		2位	4	4位	2	5位	1	
相撲		承認団体		1位	6	3位	3	2位	4	5位	1	4位	2	参加不能		
水球		該当なし		承認団体		1位	6	4位	2	5位	1	2位	4	3位	3	
弓道	男子	3位	6	4位	4	1位	10	2位	8	5位	3	6位	2	7位	1	
	女子	3位	6	7位	1	4位	4	2位	8	6位	2	1位	10	5位	3	
ソフトテニス	男子	5位	3	3位	6	7位	1	2位	8	6位	2	4位	4	1位	10	
	女子	3位	4	2位	6	参加不能		1位	8	5位	2	6位	1	4位	3	
アーチェリー		6位	2	4位	4	1位	10	7位	1	3位	6	2位	8	5位	3	
ラクロス	男子	6位	2	3位	6	2位	8	4位	4	1位	10	不参加		5位	3	
ソフトボール		承認団体		5位	2	4位	3	6位	1	1位	8	2位	6	3位	4	
馬術		6位	1	5位	2	3位	4	1位	8	4位	3	該当なし		2位	6	
自動車		2位	8	3位	6	1位	10	4位	4	5位	3	7位	1	6位	2	
ゴルフ		7位	1	1位	10	4位	4	3位	6	2位	8	6位	2	5位	3	
体操		4位	4	7位	1	3位	6	2位	8	1位	10	5位	3	6位	2	
卓球	男子	6位	2	2位	8	7位	1	5位	3	4位	4	1位	10	3位	6	
	女子	2位	8	4位	4	7位	1	5位	3	6位	2	1位	10	3位	6	
総合得点		176		228		191		201		181		195		158		
総合順位		6位		1位		4位		2位		5位		3位		7位		

- 1位 東北大学 228 pt
- 2位 名古屋大学 201 pt
- 3位 大阪大学 195 pt
- 4位 東京大学 191 pt
- 5位 京都大学 181 pt
- 6位 北海道大学 176 pt
- 7位 九州大学 158 pt



特集① 東海地区国立大学体育大会

第66回東海地区国立大学体育大会 -男子優勝、女子3位-

第66回東海地区国立大学体育大会(東国体)が、5月から7月の土・日曜日に開催されました。本大会は、東海地区(愛知県・岐阜県・三重県・静岡県)の8つの国立大学が運営している伝統ある体育大会で、参加大学が輪番で複数の競技の運営を担当する分散開催方式を採用しています。

今年度は静岡大学が幹事大学となり、男子19種目、女子12種目が実施され、出場した選手達は、東海地区の国立大学ナンバーワンの座をかけて全力でプレーし、梅雨空を吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。

総合成績では、本学は男子が優勝、女子が3位という結果に終わりました。



◆◆◆◆◆ 第66回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧 ◆◆◆◆◆

競技種目	大学名		静岡大		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		名工大		豊技大		備考
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1 陸上競技	2位	8.0	8位	1.0	1位	10.0	4位	5.0	3位	6.0	6位	3.0	5位	4.0	7位	2.0			
2 水泳	4位	5.0	8位	1.0	3位	6.0	6位	3.0	1位	10.0	2位	8.0	5位	4.0	7位	2.0			
3 硬式野球																			雨天中止
4 準硬式野球	5位	2.5	5位	2.5	3位	5.5	3位	5.5	1位	10.0	5位	2.5	2位	8.0	5位	2.5			
5 硬式テニス	2位	8.0	3位	6.0	4位	5.0	5位	2.5	1位	10.0	5位	2.5	5位	2.5	5位	2.5			
6 ソフトテニス	3位	6.0	8位	0.0	4位	5.0	6位	3.0	5位	4.0	1位	10.0	2位	8.0	7位	2.0			浜医辞退
7 バスケットボール	5位	2.0			1位	6.0	2位	5.0			3位	4.0	4位	3.0	6位	1.0			
8 バレーボール	2位	8.0	8位	0.0	3位	6.0	5位	4.0	1位	10.0	4位	5.0	7位	2.0	6位	3.0			浜医辞退
9 卓球	1位	8.0			6位	2.0	3位	5.0	2位	6.0	5位	3.0	4位	4.0	7位	1.0			
10 バドミントン	3位	6.0	5位	4.0	8位	1.0	4位	5.0	2位	8.0	1位	10.0	7位	2.0	6位	3.0			
11 サッカー	1位	10.0	5位	2.5	3位	6.0	4位	5.0	5位	2.5	5位	2.5	2位	8.0	5位	2.5			
12 ハンドボール	6位	2.0	7位	0.0	1位	8.0	4位	4.0	5位	3.0	2位	6.0	3位	5.0					浜医辞退
13 柔道	3位	4.0			5位	1.5	4位	3.0	1位	6.0	5位	1.5	2位	5.0					
14 剣道	2位	8.0	7位	2.0	6位	3.0	4位	5.0	3位	6.0	1位	10.0	5位	4.0	8位	1.0			
15 空手道	3位	5.0	2位	6.0	6位	2.0	5位	3.0	1位	8.0	4位	4.0			7位	1.0			
16 弓道	2位	6.0	4位	4.0			5位	2.0	1位	8.0	7位	2.0	3位	5.0	6位	2.0			
17 体操	3位	3.0			4位	0.0	4位	0.0	1位	5.0	2位	4.0							愛教、三重は辞退
18 馬術	3位	4.0			2位	5.0	6位	1.0	5位	2.0	4位	3.0	1位	6.0					
19 アーチェリー	5位	1.0			2位	4.0	4位	2.0	1位	5.0	3位	3.0							
20 少林寺拳法	3位	2.0					4位	1.0	1位	4.0	2位	3.0							
合計得点		98.5		29.0		76.0		64.0		113.5		87.0		70.5		25.5			
男子順位		2位		7位		4位		6位		1位		3位		5位		8位			

競技種目	大学名		静岡大		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		名工大		豊技大		備考
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1 陸上競技	2位	6.0	6位	2.0	1位	8.0	3位	5.0	5位	3.0	4位	4.0	7位	1.0					
2 水泳	6位	2.0	4位	4.0	2位	6.0	5位	3.0	3位	5.0	1位	8.0	7位	1.0					
5 硬式テニス	3位	4.0	1位	6.0	2位	5.0	5位	1.5	4位	3.0	5位	1.5							
6 ソフトテニス	1位	8.0	7位	0.0	4位	4.0	3位	5.0	2位	6.0	6位	2.0	5位	3.0					浜医辞退
7 バスケットボール	1位	4.0			3位	2.0	4位	1.0			2位	3.0							
8 バレーボール	5位	2.0			1位	6.0	6位	0.0	3位	4.0	2位	5.0	4位	3.0					三重辞退
9 卓球	2位	5.0			5位	2.0	6位	1.0	4位	3.0	3位	4.0	1位	6.0					
10 バドミントン	6位	2.0	4位	4.0	5位	3.0	1位	8.0	2位	6.0	3位	5.0	7位	1.0					
12 ハンドボール																			オープン競技 不開催
14 剣道	2位	6.0	7位	1.0	1位	8.0	4位	4.0	3位	5.0	5位	3.0	6位	2.0					
15 空手道	2位	5.0	1位	6.0	5位	2.0	3位	4.0	4位	3.0	6位	1.0							
16 弓道	6位	1.0	4位	2.5			1位	6.0	2位	5.0	4位	2.5	3位	4.0					
17 体操																			不開催
19 アーチェリー	1位	5.0			2位	4.0	4位	0.0	4位	0.0	3位	3.0							名古屋大、三重大辞退
20 少林寺拳法																			オープン競技
合計得点		50.0		25.5		50.0		38.5		43.0		42.0		21.0		0.0			
女子順位		1位		6位		1位		5位		3位		4位		7位		8位			

トピックス

就職業務について

教育推進部学生支援課

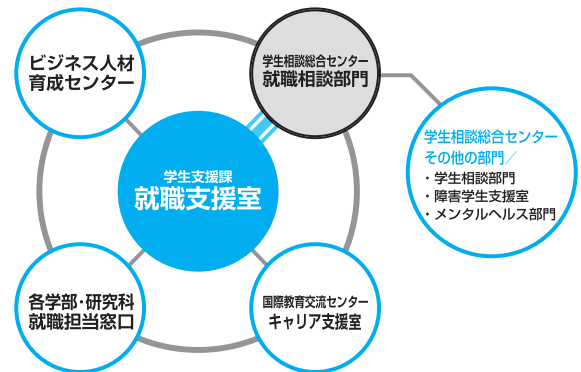
本学では、就職希望者に対して様々な就職ガイダンスやセミナーを開催しています。就職活動に対するレクチャーを受ける絶好の機会ですので、ぜひ参加して下さい。

開催予定は学内の掲示板やホームページ、メールマガジンなどで、日程や内容を確認して下さい。イベント参加予約は、名古屋大学ポータル「就職支援タブ」または就職支援室にて受け付けています。

なお、本学学生生活委員会及び就職支援担当グループの指導・助言の下に、教育推進部学生支援課及び各学部・研究科に就職担当者を置き、皆さんの就職活動が円滑に進められるように、就職情報の収集、求人情報の提供、卒業・修了者の就職先の把握など、就職指導の任に当たっていますので、お気軽にご相談ください。

また、求人票や企業選択のための資料は、下記の場所で閲覧できます。

大学内には悩みや疑問を一緒に解決できる場所もあります。就職関係や進路について、何かヒントが欲しい時には是非上記の部局にお尋ねください。



学部・研究科等	係等	内線番号	就職資料設置場所
教育推進部学生支援課	就職支援室	2176	学生支援課内就職支援室（工学部7号館B棟）
文学部／人文学研究科 文学研究科（※）・国際言語文化研究科（※）	文系教務課教務グループ（人文）	4881	文系総合館1階及び講義棟男子トイレ横掲示板
教育学部／教育発達科学研究科	文系教務課教務グループ（教育）	2607	文系総合館1階
法学部／法学研究科	文系教務課教務グループ（法）	2317	
経済学部／経済学研究科	文系教務課教務グループ（経済）	2357	
国際開発研究科	文系教務課教務グループ（国際開発）	4957	
情報学部／情報学研究科 情報文化学部（※）・情報科学研究科（※）	教務学生係	4823	SIS インフォメーションコーナー
理学部・理学研究科・多元数理科学研究科	教務学生係	2808	各学科事務室及び教務学生係
医学部（保健学科）	教務学生係	1518	教務学生係
医学系研究科	大学院係	2431	学務課大学院係（就職資料コーナー）
工学部／工学研究科	学生支援係	3599	各学科・専攻事務室及び教務課就職資料コーナー
農学部／生命農学研究科	教務学生係	4010	農学部講義棟2階教務学生係ロビー
環境学研究科	大学院係	4272	就職資料コーナー（環境総合館3階ラウンジ）
創薬科学研究科	創薬科学研究科事務室（教務担当）	6775	創薬科学研究館1F情報コーナー
国際教育交流センター	キャリア支援室	6768	国際教育交流センター（国際棟）107号室

※平成29年度以降改組に伴う学生募集停止

『就活サポーター』始まる - 頼りになる先輩が就職活動を支援します -

就活サポーターの活動とは、就職活動を終え希望の進路を獲得した先輩が、これから就職活動を始める後輩の支援をする活動です。

苦労して内定を得た貴重な体験をもとに、毎年、12月ごろから自分たちの卒業直前まで、就職活動生の迷いや悩みにこたえながら、効果的な情報収集のしかたなどのアドバイスを通じて、就職活動を応援します。

就活サポーターは男性・女性、文系・理系、学部生・大学院生、企業内定者・公務員や教員内定者など様々です。気軽に訪れているような質問をすることで自分らしい進路をつかんでください。活動の詳細についてはFacebookからチェックできます。

平成28年度の活動

- 活動場所：教育推進部学生支援課就職支援室（工学部7号館B棟）
 - 活動内容：個別に相談を受け付けています。
希望の方は、下記の連絡先または就職支援室窓口にお問い合わせください。
連絡先：NUshusapo2018P@gmail.com
- ※最新のイベント等は下記のFacebookページにてご確認ください。

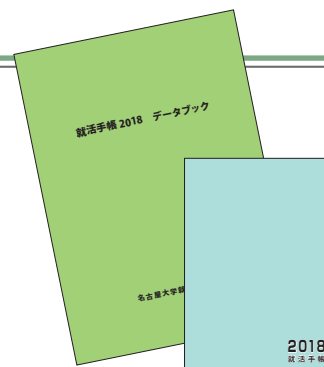
【Facebook】名大就活サポーター @meidaishusapo



Facebook

必携『就活手帳2018』及び『就活手帳2018データブック』

学部3年生、博士課程前期課程1年生向けに『就活手帳2018』及び『同2018データブック』を発行しました。名古屋大学の就職活動支援や、就職活動の進め方、2017年3月に卒業・修了した先輩の就職先に関する資料など、ためになる情報が掲載されています。就職支援室及び所属学部・研究科の教務担当係で配布中です。ガイダンス等の情報も載っていますので、是非入手して就職活動に役立ててください。

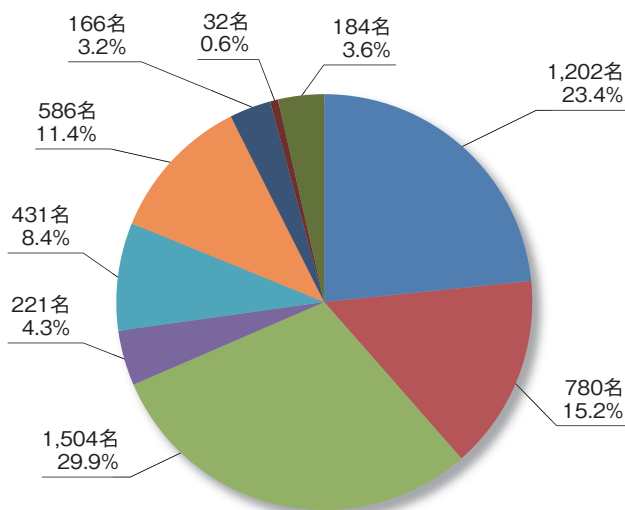


就職支援室メールマガジンに登録しよう！

就職支援室では、就職支援メールマガジン配信により、就職ガイダンスや合同企業説明会、インターンシップ情報など、就職活動やインターンシップに役立つ情報をリアルタイムで学生の皆さんにお届けしています。まだ登録を行っていない方は、下記URLまたはQRコードからメールマガジンに是非、登録しましょう(携帯電話の機種によっては、うまく表示されないことがあります)。名古屋大学ポータルサイト「就職支援室」タブ内メールマガジン登録画面からも登録できます。 <https://portal.nagoya-u.ac.jp/>



◆ 就職支援室利用状況／就職支援室来室アンケート ◆



(複数回答)

回答	件数	割合
就職活動に関する相談	1,202	23.4%
図書・DVDの貸出・返却	780	15.2%
就職相談員への相談・予約	1,540	29.9%
インターンシップに関する相談	221	4.3%
OB・OG名簿の閲覧	431	8.4%
求人票、先輩の就活レポート等の閲覧	586	11.4%
就職サポーターへの相談、就職サポーター活動	166	3.2%
適性検査(キャリアインサイト)の受検	32	0.6%
その他	184	3.6%
合計	5,142	100.0%

集計月	人数				累計
	人数	男性	女性	不明	
平成28年 10月	204	132	72	-	204
11月	215	134	81	-	419
12月	279	159	120	-	698
平成29年 1月	354	218	136	-	1,052
2月	568	363	205	-	1,620
3月	581	332	249	-	2,201
4月	482	269	189	24	2,683
5月	519	308	199	12	3,202
6月	522	300	207	15	3,724
7月	434	225	182	27	4,158
8月	310	181	119	10	4,468
9月	253	152	95	6	4,721
合計	4,721	2,773	1,854	94	

「目的別」集計グラフ

<平成27年10月～平成28年9月>

学部・研究科	人数				計	
	人数	(男性)	(女性)	(不明)		
文	文学部	346	100	246	0	440
	文学研究科	82	35	47	0	
	人文学研究科	12	2	10	0	
教	教育学部	171	28	143	0	187
	教育発達科学研究科	16	7	9	0	
	法学部	375	235	140	0	
法	法学研究科	31	19	12	0	406
経	経済学部	538	287	251	0	561
	経済学研究科	23	20	3	0	
国開	国際開発研究科	48	21	27	0	48
国言	国際言語文化研究科	12	0	12	0	12
情文	情報文化学部	198	94	104	0	198
理	理学部	227	166	61	0	544
	理学研究科	317	206	111	0	
多元	多元数理科学研究科	78	77	1	0	78
工	工学部	341	258	83	0	1,164
	工学研究科	823	701	122	0	
農	農学部	188	60	128	0	454
	生命農学研究科	266	149	117	0	
医	医学科	1	0	1	0	151
	保健学科	75	11	64	0	
	医学系研究科	75	34	41	0	
環	環境学研究科	176	106	70	0	176
情報	情報科学研究科	131	101	30	0	164
	情報学研究科	33	30	3	0	
創業	創業科学研究科	44	26	18	0	44
不明	学部・学科不明	94	0	0	94	94
合計		4,721	2,773	1,854	94	4,721

特集② 海外留学体験報告

交換留学 | 交換留学で憧れの留学を実現

小学生の頃からずっと憧れていた留学。その夢がやっと叶い、去年の夏から約一年間ドイツのミュンヘンに留学することができた。ドイツを選んだ理由は、労働生産性の高い国で実際に現地の人々の考え方を吸収しながら人事管理について学べ、さらに私は英語圏以外の国に行きたいという願望があったので英語で開講されている授業数が非常に多いことが決め手であった。

勉強面に関しては、前期は授業についていくのに必死で、先生に許可を得て授業を録音して、帰ってから何度も聞き直して復習していたのを今でも強く覚えているほど大変であった。だが、そのおかげもあり、後期からは特に録音する必要も無くなるほど耳から一度で理解することができるようになり、自分自身の成長を感じることができた。

プライベート面では、どの留学生よりも充実していた自信があるほど日々が有意義であった。毎日友達とご飯を作って一緒に食べたり、たまには外食したり。週末には公園で散歩してピクニックをしたり、長期休暇には周辺国に旅行に行ったり。また帰国前にはイギリスで二週間のボランティア活動にも挑戦した。

予想外の収穫としては「絶品キムチの作り方」を韓国出身の友人から学んだことだ。渡航前はまさか自分がキムチを作れるようになるとは想像もしていなかったが、留学生同士の交流も留学の醍醐味の一つであり、今後も世界各地にできた友人との交流を続けていきたい。

ミュンヘン工科大学 (2016.9-2017.7)
経済学部3年 栗野 雅行



全学教養科目特別講義 | 広大な草原の中で考えさせられたこと

印象に残ったのは首都ウランバートルから西へ230キロ、モンゴル高原の中央部にあるハラホリン(カラコルム)で遊牧民の暮らしを体験したことだ。暖炉の燃料となる牛糞を回収したり、馬に乗りながら牛の誘導を見学したり、山羊の解体現場に立ち会ったりなど、自然に根差した暮らしの一部を体験することができた。また偶然、結婚式にも参列することもでき、馬乳酒やお酒が振舞われる中で日本の歌をうたって新郎新婦を祝った。

遊牧生活の体験で考えさせられることがあった。それは産業や情報の発達した社会の中で暮らしているのか、農作物や家畜などの食料がどのように育つのか、道路のアスファルトの下はどうなっているのかといった自然と社会の関わりについて意識する機会があまりないということだ。特に私の場合は自然というものが人間の活動に組み込まれているような感覚でいたが、家畜と共に生きる遊牧民の姿、どこまでも続く広大な草原を目の当たりにしたとき、「私たちの暮らしは自然の営みの上に成り立っている」という意識が強く喚起された。

遊牧生活や草原の情景への憧れ、経済成長著しいモンゴルへの好奇心、文化や風土が異なる土地を訪れ見聞を広めたいと思ったこと、新しい経験により自分の中で面白い変化が生じるのではないかと期待などから研修への参加に至った。授業や現地でも学んだことや感じたことは私の財産になり、普段の生活を新たな視点で捉え直すきっかけともなったので、お世話になった方々への感謝を忘れず学生生活へ活かしていきたい。

アジア現代事情, モンゴル (2017.8.23-9.3)
情報文化学部3年 藤高 圭介



特集② インターンシップ体験報告

インターンシップ体験記



教育学部3年 沖津 くるみ

私は、9月4日から8日までの5日間、東京海上日動火災保険株式会社のインターンシップに参加させていただきました。東京海上日動は、損害保険業界においてトップの位置にあり続け、また「日本で一番「人」が育つ会社を目指す」という戦略を掲げています。私は、そのような会社において社員の方がどのように仕事に取り組んでいらっしゃるのかを学びたいと思い、このインターンシップに参加しました。

初めの2日間は、グループワークを交えながら会社概要や業務内容等を学びました。お客様に安心を提供するために、様々な分野の「リスクのプロ」が携わっていることが分かりました。また、社員の方々とお話しする中で、どの方も会社を愛し、誇りを持っていることが印象に残りました。

3日目、4日目はグループごとに各部門に配属され、営業の同行やオフィスでの業務体験をさせていただきました。私はディーラー部門に配属され、自動車販売の営業所やそれらを束ねる本社の企画部への営業を見学しました。営業においてディーラーさんとの関係を構築していくことの難しさとやりがいを学びました。ディーラー部門の営業の社員の方々は熱意のある方が多く、また私たちのプレゼンに向けて熱心にアドバイスをしてくださり、「[人]が育つ会社」というものを体感できたように思います。

5日目は3,4日目で訪問したクライアントに向けての提案をプレゼンしました。グループのメンバーと全力で悩み、協力してプレゼンを完成させたことで大きく成長できました。

私は5日間のインターンシップを通して、業界や会社の業務だけでなく社員の方の仕事に対する姿勢ややりがいを学ぶことができました。そして、このインターンシップは自分の職業観や性格を見つめる一つのきっかけとなりました。この経験を活かし、今後の就職活動に邁進していきたいと思っています。

仕事の現場に入り、一度に多くの社員の方々とお会いできる経験は学生時代においてとても貴重なものだと思います。私はインターンシップの参加によって、働くことに対してより深く考えられるようになりました。就職活動に疑問や不安がある方や、働くことへのイメージが湧かない方には、インターンシップへの参加をお勧めしたいと思います。

最後に、インターンシップでお世話になった東京海上日動の社員の皆様々に心より御礼申し上げます。

教育推進部の窓

ごみの全学一元回収・処理

環境安全支援課

本学では平成12年4月から「ごみの全学一元回収・処理」を実施しています。その中で、現在一般廃棄物(ごみ)を22項目に分類し、分別回収・処理を行い、学内から排出される一般廃棄物(ごみ)の減量化・再資源化に取り組んでいます。

また、平成12年10月1日から、これまでの「古紙・紙ごみ再資源化」をさらに一歩進め、全ての古紙・紙ごみについて全学一元回収を行い、再資源化を図っています。これにより名古屋大学から排出されるコピー用紙・シュレッダーごみ等の古紙類については、学内リサイクル古紙としてトイレットペーパー等に資源化処理されます。

ゴミの減量化、分別回収・処理を行うことは、事業所としての大学の社会的責任であり、また循環型社会形成への意識改革、教育研究における安全性の確保、地域社会の環境保全、環境教育の具体的実践とも関連します。ご理解の上、ごみ減量化と、キャンパス環境の美化にご協力をお願いします。

分別回収にご協力を!

ごみの分類

1. 可燃ごみ
2. 不燃ごみ
3. かん
4. びん
5. ペットボトル
6. 牛乳パック
7. 発泡スチロール
8. 食器トレイ
(発泡スチロール製)
9. 新聞紙
10. 広告・チラシ類
11. コンピュータ用紙
12. 段ボール箱
13. ファイル類
14. 雑誌・書籍
15. コピー用紙
16. 機密書類
17. シュレッダーごみ
18. 紙片・葉書・封筒・ノート類
19. 蛍光灯
20. 乾電池
21. 粗大ごみ
(事業系資源ごみ等)
22. 厨芥ごみ

名古屋大学ごみ減量化宣言

名古屋大学の構成員は、教育研究活動の結果排出される一般廃棄物(ごみ)の発生を抑制(reduce)するとともに、分別回収を行い、その再利用(reuse)、再資源化(recycle)に努め、廃棄物の資源化、減量化を促進することは大学としての社会的責任であることを自覚し、全学一元化方式による分別回収・処理を推進する。

(「名古屋大学一般廃棄物(ごみ)回収・処理のためのガイドライン」より抄録)

● 一般廃棄物(ごみ)の分別と回収方法

- 1) 名古屋大学では、一般廃棄物(ごみ)を左のように22項目に分類し、分別回収を行います。
- 2) 学内共通部分から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、かん、びん、ペットボトルは学内共通ごみ回収容器による回収とします。
- 3) 研究室など屋内から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、かん、びん、ペットボトルは指定ごみ袋回収とします。
- 4) 学内共通ごみ回収容器(屋外及び屋内)からのごみは環境指導員が回収しますので、回収容器の種類に従って分別してください。
- 5) かん、びん、ペットボトル、牛乳パックは生協にも分別回収容器が設置されていますので、利用してください。
- 6) 古紙も10種類に分けて、分別回収を行います。
- 7) 蛍光灯、乾電池は、それぞれ集中分別回収のためコンテナとドラム缶を設置しています。
- 8) 昨年度から新たに粗大ごみの分類中に「事業系ごみ」の区分を設け、回収を行なっています。

● ごみ袋の種類と回収

- 1) ごみ袋は、次の5種類の名古屋大学指定ごみ袋とします。
(1) 可燃ごみ [レモンイエロー(赤色文字)袋]、(2) 不燃ごみ [レモンイエロー(緑色文字)袋]、(3) かん [透明袋]、(4) びん [透明袋]、(5) ペットボトル [透明袋]
- 2) ごみ袋は学内指定集積場において指定日時の即日回収となります。
- 3) ごみ袋には排出責任者が分かるように、必要事項を必ず記入してください。

● 環境指導員(ごみパトロール隊)の巡回指導

学内に環境指導員室を設置し、ごみの分別回収についての巡回指導を行います。

● 一般廃棄物(ごみ)についての相談

環境指導員室 …… 内線 4530 (外線 052) 789 - 4530)



教育推進部の窓

ハラスメントのないキャンパスにするために

心のつぶやきを
私たちに
聞かせてください。

「ハラスメント」は多くの場合、NO!と言えない状況で起こります。
つらい思いをしているあなたは、決して悪くない。
もしひとりで悩んでいるのなら、私たちに聞かせてください。
専門カウンセラーが今後の対策について一緒に考えます。
もし今現在、問題に直面していなかったとしても「ハラスメント」を正しく知って理解してください。
大学生活を豊かなものにするために、大切なことです。

セクシュアル・ハラスメント

【定義】

性的な言動により相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。
セクシュアル・ハラスメントに当たるかどうかは、相手が不快に思うかどうかが重要視されます。

- たとえば・・・
 - ある研究室では、いつも数人の学生が集まり、大声で卑猥な話をしている。他の学生はこのようなことを聞かされるのが嫌で、研究室を利用する時はいつも苦痛に感じている。
 - 先輩の告白を断ったが、先輩から執拗にメールや電話の連絡があり、困っている。
 - 2人で飲みに行こうと誘われたが、断ると、翌日から相手の態度が豹変した。

アカデミック・ハラスメント

【定義】

教育、または研究上の優位な立場を利用した不当な言動により、相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。アカデミック・ハラスメントに当たるかどうかは、行為者の主観的な意図に関わらず、客観的な判断が重要視されます。

- たとえば・・・
 - 教員が指導の際に、学生の能力や人格を否定するような発言を繰り返したり、長時間にわたって威圧的な説教をする。
 - 研究室に早朝から深夜までいることや、泊まりでの実験を強制し、休日を一切とらせない。
 - 「論文を通さない」「卒業させない」と毎日のように学生に言い、学生がストレスで体調を崩してしまった。



【定義】

職務遂行上の優位な立場を利用した不当な言動により、相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。また職務遂行上の立場に関わらず、妊娠や出産、若しくは育児や介護に関する制度を利用する者に対する同様の行為もパワー・ハラスメントとなります。パワー・ハラスメントに当たるかどうかは、行為者の意図に関わらず、客観的な判断が重要視されます。

●たとえば・・・

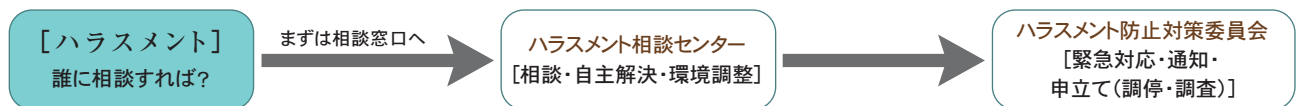
- 不必要に多数の者がいるところで叱責する。
- 意図的に必要な情報を与えない。
- 職員が妊娠したため雇用契約を更新しない。

このように、権限を利用した不適切な言動により相手の意欲を低下させたり、環境を悪化させることはハラスメントに該当すると考えられます。

🌸 ハラスメントをなくすために.....

ハラスメントを受けてしまったら	ハラスメントを受けている人から相談を受けたら	加害者にならないために
<ul style="list-style-type: none"> ● 不快であるという意思表示をしましょう。 ● その場から離れましょう。 ● 上に述べたような行為ができなかったとしても、不快な気持ちは大切にしましょう。そして、心の中にため込まずに書き出してみてください（記録は迅速な解決につながります）。 ● 信頼できる人に相談してください（友人、教員など）。 ● 相談センターを利用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 話をよく聞いてあげてください。 ● 相談センターに行くことを勧めてあげてください。 ● 相談センターを利用してください（第3者からの相談も受け付けています）。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手の意思を尊重し、相手が不快に感じる言動は繰り返さないようにしましょう。 ● 自分は気に留めないようなことでも、人によって受け取り方は異なります。自分の持つ力や優位な立場にいるということを意識しましょう。 ● 感じた事を率直に言い合える良好な関係・環境をつくることを心がけましょう。 ● 自分の言動は、自分や家族がもし同じことをされても平気か、また、自分の家族かそばにいても同じことができるか考えてみましょう。

🌸 相談の流れ.....



相 談

- 専門の知識を持った相談員と一緒に解決方法を考えます。
- 相談員には守秘義務があります。安心してお話しください。

環境調整

- 相談者の同意の下で、修学・就労環境などを改善するために関係者に協力を求めます。ハラスメント相談センター長の判断により行われます。

緊急対応

- 相談者の同意の下で、相談者の保護のために迅速な対応が必要である場合に関係部局長に協力を求めます。ハラスメント防止対策委員長の判断により行われます。

通 知

- ハラスメントの相談を受け付けたことを相手方である構成員等に通知することがあります。ハラスメント防止対策委員長の判断により行われます。

申 立 て

- 調停と調査があります。
- ハラスメント相談センターは、相談者がハラスメント防止対策委員会へ申立てを行うサポートをします。

【名古屋大学 ハラスメント相談センター】

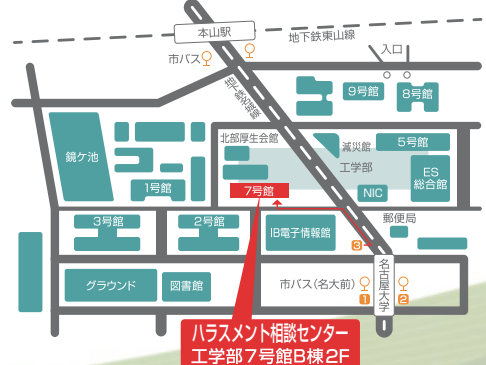
- 開室時間は月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00です。
- 電話・FAX・Eメールによる相談の受け付けをします。

名古屋大学 ハラスメント相談センター

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 工学部7号館B棟2階
 TEL/052-789-5806 FAX/052-789-5968
 E-mail/h-help@adm.nagoya-u.ac.jp http://www.sh-help.provost.nagoya-u.ac.jp

- 鶴舞分室：毎週火曜日（祝日を除く）開室中
- 大幸分室：第2・第4木曜日（祝日を除く）開室中

詳しくは、HPをご確認ください。



※地下鉄「名古屋大学」駅3番出口 徒歩約3分

教育推進部の窓

学生生活状況調査報告書(第27回)について

教育推進部学生支援課

学生生活状況調査は、本学の学生を対象に、経済生活及び学生生活全体をととした学生の動向を客観的に把握し、学生の福利厚生に役立たせるための基礎的な資料を得ることを目的として、1963年(昭和38年)に始まりました。以後、隔年毎に継続的にアンケート調査を実施し、アンケート実施の翌年度に、調査結果を取りまとめた「学生生活状況調査報告書」を作成発行しており、今年度で27回目を数えるに至りました。

調査項目については、調査開始当初は「経済状況」、「住居・食事」、「アルバイト」など経済生活に関する設問が中心でしたが、社会情勢の変化とともに学生のライフスタイルが変わり多様化してきたことに伴い、調査項目の見直しが行われ、現在では「大学生活」、「海外渡航・国際交流」、「心身の健康」、「ハラスメント」、「就職」などの項目が追加され、多岐にわたっています。

また、調査票には「大学に対する希望等」として自由記述欄が設けてありますが、今回も多種多様な意見・要望がありました。

設備・環境に関しては、大学として継続的に整備を行っているため、不満は少なくなっていますが、駐輪場やトイレの整備に対する意見が多く見られました。

福利厚生に関しては、学内食堂の満足度は徐々に高くなってはいるものの、メニューの工夫や価格、営業時間に関する事など、依然として食生活への要望が多くありました。

本調査で得られる結果は、学生支援に係る施策を検討する上で、貴重な参考資料となります。

学生のみならず、大学に対する意見・希望を述べる良い機会と捉え、今後とも本調査へのご協力をお願いします。

※「学生生活状況調査報告書」は各学部・研究科の教務学生関係窓口で閲覧できます。
また、名古屋大学ポータル(教育推進部からのお知らせ)に掲載します。

クラブ活動

映画研究会

映画研究会はサークル員23人、毎週の活動日は月曜日と金曜日の2日です。

主な活動は映画を「見る」、「撮る」の2つ。「見る」は、毎週金曜日に部室に集まって映画を見る鑑賞会。邦画も洋画も、実写もアニメも、新旧ジャンルも問わず様々な映画に触れる機会です。「撮る」は、製作者の好きな物語、映像、演出で撮影。サークルの機材を用いて自由に撮ることができ、一部作品を名大祭で上映しています。

他にも季節ごとに発行している機関紙「エイガテキ」には、映画に関する様々な特集を組んで全学教育棟本館掲示板にて配布しています。

映画は総合芸術であり、内容も多岐にわたります。そのため、皆さんが楽しめる映画が必ずあります。ぜひ一度立ち寄ってみてください。



サイクリング部

サイクリング部は、主にツーリングを主体とした自転車関連なら何でもありの部活です。代表的な活動としては春と夏の長期休暇に行われる合宿があり、九州や四国、北海道を旅しています。普段の活動としては、週一で行われる部会とそこで計画されるランがあり、週末には様々な場所を自転車で駆け回っています。またツーリングや普段のラン以外にも、シクロクロスやブルベなどのレース競技にも積極的に参加しており、部員の自主性が活きる部活になっています。

自由に使える時間が多い大学生活のなかで、自然を相手に旅するツーリングや自らの限界に挑戦する自転車競技に皆さんも一緒に向き合ってみませんか？





伝言板

全学教育棟サブラボについて

教養教育院

全学教育棟サブラボ(A,B)は、学内各所に設置された情報メディアサテライトラボの一つで、全学教育棟の本館中央棟2階に設置されています。サブラボのパソコンから情報メディア教育システムを利用することができます。

○設備

◆ サブラボA

学生用パソコン104台(うち車椅子用2台)、
教員用パソコン1台、プリンタ1台

◆ サブラボB

学生用パソコン28台(うち車椅子用2台)、
教員用パソコン1台、プリンタ1台

○開放期間

授業期間内(土曜・日曜・祝日、新生ユーザー登録日、
名大祭、年末年始、入学試験前日及び当日等は閉室)
※夏季・冬季休業中の開放は、別途お知らせします。
※メンテナンスのため臨時に閉室することがあります。

○開放時間

講義を除く月曜日～金曜日
午前8時45分～午後7時30分
※午後4時30分から午後7時30分ま
ではサービススタッフが在室します。

○その他

全学教育棟本館では講義室はもとより、学生ホール、セミ
ナーラウンジ等において無線LANを使用することができ
ますので、各自が持参したパソコンにより、情報メディア教
育センターを経由してインターネットに接続が可能です。

教養教育院のウェブサイトについて

教養教育院

教養教育院のウェブサイトをご活用ください。

全学教育科目の履修登録等に関する情報「お知らせ」(<http://adm.ilas.nagoya-u.ac.jp/office>)

全学教育科目授業アンケート結果「学内専用」(<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/inner>)

授業料免除申請手続きについて

教育推進部学生支援課

経済的理由により授業料の納入が困難で、かつ、学業優秀と認められる場合又は、特別な事情(風水害等の災害を受けた場合等)により授業料の納入が著しく困難であると認められる場合は、納入すべき授業料の全額または半額が免除されることがあります。

この制度の適用を受けるためには、授業料免除申請が必要となり、申請手続きは、原則として年1回の前期分・後期分同時申請で行っています。

申請に関する手続き時期等の詳細については、各学部・研究科及び教養教育院に掲示でお知らせしますので、十分注意してください。

平成30年度日本学生支援機構奨学生の募集について

教育推進部学生支援課

日本学生支援機構の奨学生の募集については、春(3月中旬)に掲示等でお知らせします。奨学金貸与希望者は、所属学部・研究科及び教養教育院の掲示等に十分注意してください。

平成30年度民間奨学財団奨学生等の募集について

教育推進部学生支援課

民間奨学財団および地方公共団体の奨学金募集は、本学のホームページ <http://www.nagoya-u.ac.jp> (トップページ→教育/キャンパスライフ→各種免除制度・奨学支援→民間奨学財団奨学金・地方公共団体奨学金)で随時お知らせします。

募集は、前年度後期から始まり、3月～5月に集中しています。学部が指定されるものもありますので、詳しくは各学部の掲示板に注意してください。

自転車の盗難防止、走行上の注意及び自転車損害賠償保険等への加入について

教育推進部教育企画課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック(ツーロック)にしてください。自転車窃盗犯の約70%がツーロックされている自転車は盗まないとされています。

なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役・50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必ず書類送検され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が科せられることがあります。絶対に行わないでください。

また、自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命にも関わる大事故につながりかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

さらに、名古屋市では平成29年10月1日より、自転車利用者及び自転車を利用する未成年の保護者は、自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられました。近年、自転車事故で相手方を死傷させた場合、高額な損害賠償を命じる判決が相次いでおり、被害者の保護を図るため、また、損害賠償責任を負ったときの経済的負担の軽減を図るためです。まず、自転車事故による損害賠償責任が、現在加入している保険の補償範囲に含まれているか確認しましょう。

(参考: <http://www.city.nagoya.jp/shiminkeizai/page/0000091461.html>)

ゴミ出しマナーはルールを守って

教育推進部教育企画課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、種類毎に指定された曜日・場所に出すことになっています。

名古屋市内で単身で下宿生活を送っている学生は、地域の員としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。

分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。

ゴミの出し方(種類の分け方)が判らないときは、各区の環境事業所、または町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

なお、学内に家庭ごみや粗大ごみを持ち込んで投棄することは、不法投棄ですので絶対行わないようにしてください。本学では、不法投棄を発見した場合、警察への通報などの対応を取っています。

メールアドレス登録についてのお願い

教育推進部基盤運営課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用しています。

緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータル(「キャンパス」タブ)よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】

- ・情報セキュリティ
- ・インシデントに関する緊急・重要事項の連絡及び対応の要請
- ・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
- ・災害発生時の安否確認に関する連絡

災害対策

予想できない非常事態に対応するための情報

◆ 予想できない非常事態に備えて

自然災害や非常事態に適切に対応するためには、情報と準備が大切です。特に、予想できない緊急事態に直面したときに、自分の身にどのような危険が迫っているか、どのように行動したらよいか、そのための情報をどうすれば利用できるか、日ごろから理解しておきましょう。

◆ 気象災害

今年7月上旬の九州北部豪雨では、1時間に100mmを超える豪雨が数時間続き、河川の氾濫などで37人が亡くなりました。7月14日には、犬山市や小牧市で短時間の豪雨による浸水などが起こっています。集中豪雨は、台風などと比べて予報が難しく、急激な天候の変化のために避ける間もなく災害に巻き込まれる可能性があります。このようなときには「記録的短時間大雨情報」が気象庁から出され、数年に一度の短時間の大雨が、そこで降っていることの危険を伝えます。また、気象庁ホームページの「高解像度降水ナウキャスト」(ナウキャストは現在(now)と予報(forecast)の造語)などにより、降水や落雷、河川の増水などを地図上ででき細かく確認できます。このほかに自治体の出す避難情報にも対応できるようにしましょう。

◆ 地震災害

東海地震は直前予知の可能性があるとされ、気象庁が地殻変動などの観測により前兆現象をとらえて、法律により首相が警戒宣言を出して対応することになっていました。しかし、確度の高い直前予知は困難であることがわかってきたため、今年11月からはより広い範囲の「南海トラフ地震に関連する情報」を状況に応じて出すことに変更しています。これにより、事前の安全対策や突然地震が起こった際の対応などが、今まで以上に重要になります。個人でも建物や室内の耐震性向上や備蓄の準備、避難の方法や情報の確保などを準備することが大切です。また、地震が起こった瞬間に身を守るための「緊急地震速報」が、テレビや防災無線、スマホなどで伝えられます。名古屋大学では学内一斉放送で知らせるシステムがあります。どこにいても緊急地震速報が出た時に安全確保の対応ができるよう、事前に準備しておきましょう。

◆ その他の非常事態

今年の8月以降、「Jアラート」が広く知られるようになりました。正式名称は「全国瞬時警報システム」で、大規模な災害や武力攻撃などの非常事態に関する情報を、広い範囲に直ちに伝達して国民をまもるための仕組みです。私たちのところには、自治体の防災行政無線、テレビ等のメディア、携帯電話のエリアメールなどで伝えられます。この仕組みについて理解するとともに、一刻を争う非常事態への対応方法を身に付けておく必要があります。今回の弾道ミサイルに対しては、できることは限られるかもしれませんが、「内閣官房国民保護ポータルサイト」などで確認しておきましょう。